

一戸建て住宅に比べ近所付き合いが進みにくいマンション。住民同士が本音で付き合えるコミュニティが注目され始めた。高齢化の進展や子育ての悩みなどに直面した住民が、助け合おうと立ち上がったものだ。昔ながらの温かな心や人情にあふれた現代マンションの人間模様をのぞいた。

「あのおっちゃんの前 網戸の張り替えや包丁メンバが駆けつけて手が見えんけど、まだ寝と 研ぎ、切れた電球の交換 伝う。代表の立石裕穂さん(63)は「様々な特技に電話してみようや」受け、シニア世代中心のを持つ住民が協力してくる。サポートできる家で、サポートできる家事的種類はほとんど増えている」という。

大阪府枚方市のマンション「労住まきのハイッ」は、今も濃密な近所付き合いが息づく。ある住民は「マンションで独り暮らしする隣人が亡くなったことに気づかない『孤独死』は住民の恥。ここではそんなことはあり得ない」と断言する。

「コミュニティの中核が、二〇〇〇年十月設立のボランティアグループ「くらしの支援かけはし」。全四棟、三百八十戸のうち六十歳以上の世帯が半数近くを占める。住民の高齢化が進む中、家事を気安く頼める雰囲気づくりを狙い、住民約六十人が立ち上げた。

マンション住民

コミュニティで支え合い

高齢化で危機感

日常の雑事、子育て支援も

費用負担や修理の方築三十年を超えるマンションは六千五百棟、二十多い大規模修繕で、管理会社に委託せずスムーズに住民の合意をまとめたい。日ごろからつき合

事。費用負担や修理の方築三十年を超えるマンションは六千五百棟、二十多い大規模修繕で、管理会社に委託せずスムーズに住民の合意をまとめたい。日ごろからつき合

事。費用負担や修理の方築三十年を超えるマンションは六千五百棟、二十多い大規模修繕で、管理会社に委託せずスムーズに住民の合意をまとめたい。日ごろからつき合

事。費用負担や修理の方築三十年を超えるマンションは六千五百棟、二十多い大規模修繕で、管理会社に委託せずスムーズに住民の合意をまとめたい。日ごろからつき合

事。費用負担や修理の方築三十年を超えるマンションは六千五百棟、二十多い大規模修繕で、管理会社に委託せずスムーズに住民の合意をまとめたい。日ごろからつき合

声が多かったため、感謝の気持ちとして受け取ることにした(立石さん)。利用者はシニア世帯だけでなく、子どもを持つ若

声が多かったため、感謝の気持ちとして受け取ることにした(立石さん)。利用者はシニア世帯だけでなく、子どもを持つ若

声が多かったため、感謝の気持ちとして受け取ることにした(立石さん)。利用者はシニア世帯だけでなく、子どもを持つ若

声が多かったため、感謝の気持ちとして受け取ることにした(立石さん)。利用者はシニア世帯だけでなく、子どもを持つ若

声が多かったため、感謝の気持ちとして受け取ることにした(立石さん)。利用者はシニア世帯だけでなく、子どもを持つ若

グループの効果が発揮されたのが、昨年十二月に完工した大規模修繕工

グループの効果が発揮されたのが、昨年十二月に完工した大規模修繕工

グループの効果が発揮されたのが、昨年十二月に完工した大規模修繕工

グループの効果が発揮されたのが、昨年十二月に完工した大規模修繕工

グループの効果が発揮されたのが、昨年十二月に完工した大規模修繕工

川)が昨年まとめた調査によると、三大都市圏で



「くらしの支援かけはし」が開くバザーも人気(大阪府枚方市)